

令和3年度（2021年度）事業報告書

横須賀市産業振興財団は、平成4年11月の設立以来、横須賀市産業交流プラザを拠点として本市産業振興の取り組みを進め、平成26年4月に公益財団法人として組織体制を改編しました。

令和3年度は、横須賀市IoT導入支援事業を推進するとともに、経済産業省から選定されている「横須賀市IoT推進ラボ」事務局として、時代に即応する新たな業務を担うとともに、国・県の支援策も活用しながら市・商工会議所等の関係機関・団体と連携し、既存の中小企業に向けた経営支援、創業者支援及び起業人材育成支援をはじめ当財団の専門性・機動性を発揮して諸事業を展開しました。

また、オンライン会議システムの運用ノウハウを蓄積しつつ、オンラインを積極的に活用することで、いかなる状況下にあっても相談事業、研修事業等を継続実施できる体制をとりました。

今後も、企業の経営革新や創業者成長支援等をはじめとする各種研修事業、交流事業及び相談・アドバイス業務を通じて、本市産業の一層の振興を図るとともに、三浦半島地域の中小企業勤労者の福利厚生への更なる充実に向けた事業を展開します。

1 事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 産業振興に関する交流会、シンポジウム等の開催（交流事業）

（予算額 2,972,000 円）

支出額 2,020,963 円

（前年度支出額 2,238,147 円）

(ア) 異業種交流グループの活動支援（補助）

企業間連携によって新たな事業起こしを目指す異業種交流グループの活動に対して、活動費の一部を補助するとともに、定例会に随時参加し、アドバイスをを行った。

- ・横須賀地域研究機関等連絡協議会

(イ) 産学連携・産業経済人交流会の開催

大学研究者と企業経営者、技術者、創業者が情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、新たなビジネスチャンスの創出を図るために交流会を企画したが、感染症拡大防止の観点から慎重を期しオンラインにて「横須賀市研究者交流会」を開催した。

- ・期 日 令和4年3月30日（水）
- ・開 催 オンライン（oVice）
- ・参加者 大学・研究機関研究者・エンジニア等 27名

(ウ) 地域を越えたビジネス交流会への参加

県内の5産業振興財団等が市域を越えた企業間の交流を促進するため、それぞれの財団が主催する事業について互いに啓発に努めた。

- ・構成機関 各産業振興財団（神奈川、横浜、川崎、相模原、湘南、横須賀）他
- ・内 容 川崎市産業振興財団「かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場」後援
神奈川産業振興センター「令和3年度オール神奈川受・発注2021」後援
神奈川産業振興センター「テクニカルショウヨコハマ2022」後援

(エ) 中小企業支援フォーラムの活動支援

女性起業家を目指すグループや産学連携の自主的な活動に対して、運営のアドバイスとともに広報、開発経費等の支援を行った。

- ・対象 ①女性起業家応援団“WITH”
②横須賀三浦地区工業経営研究会

①女性起業家による勉強会の開催（WITH 主催・財団後援）※

Web デザイナー、ファイナンシャルプランナー、アートセラピスト、メイクアップアーティスト、フラワー講師等、自らのスキルを活かして起業家としての成長を目指す「女性起業家応援団“WITH”」が行うホームページ制作をテーマとした外部セミナーや外部専門家を招いてのグラフィックデザイン勉強会実施の他、メンバー間の勉強会・報告会を次のとおり開催した。なお、感染症拡大防止の観点からオンライン併用開催。

コーディネーター：(株)フォワード・グッド代表取締役・中小企業診断士 原賢治

セミナー・講演会 6/19【オ】・10/23【オ】 計2回 参加者：延べ19名

勉強会・報告会 4/30【オ】・5/29【オ】・6/19【オ】・7/31【オ】・8/28【オ】

9/25【オ】・10/23【オ】・11/20・12/24・1/28・2/26【オ】・3/25

計12回 参加者：延べ72名

(※) 【オ】はオンライン開催。

②横須賀三浦地区工業経営研究会

製造業の経営者で構成される同研究会では、例年研修会を開催し、IoT導入による製造現場の生産性向上をテーマに中小企業導入事例及び当財団IoT導入支援メニューの紹介などを実施しているが、感染症拡大防止の観点から慎重を期し開催を見送った。

(オ) ハッカソン・アイデアソン※（ICT関連）

横須賀市内にICT関連企業・人材の誘致や育成を図るとともに、研究機関や観光地など横須賀ならではの資源に注目し、ICTを活用した新たな事業興しのヒントを得るため、アイデアソン※を8回に渡り開催した。

なお、この事業は、平成27年7月1日から当財団が事務局を務めている「ヨコスカバレー構想実現委員会」と連携して実施した。

(※) ハッカソンとはハック(Hack)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

(※) アイデアソンとはアイデア(Idea)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

a ヨコスカバレー構想実現委員会・横須賀市IoT推進ラボ定例会でのアイデアソン開催

・期日 4/13・6/8・8/10・10/12・12/18・2/8 計6回

・開催 オンライン (Zoom)

・参加者 延べ113名

・内容

ヨコスカバレー構想実現委員会・横須賀市IoT推進ラボ定例会において毎回1~2件のプレゼンテーションや会員同士の近況報告を実施。プレゼンや報告内容を一層魅力的で実現可能なものにするためのアイデアを出し合うアイデアソンを6回開催した。なお、感染症拡大防止の観点から慎重を期しオンラインで開催した。

b ろぼてユニット実証実験アイデアソン

・期日 4/19・12/16

・場所 横須賀市阿部倉29-18・横須賀市産業振興財団会議室

・参加者 延べ：19名

・内容

地域コミュニティに馴染み愛されるロボットをデザインするため、ろぼてユニット(ヨコスカバレー構想実現委員会でロボティクスを推進するユニット)が女子美術大

学学生がデザインしたロボット 3 体を原寸大の発砲スチロール造形で作成し、自律神経年齢などが測定できるセンサー・モニター・PC を組み込み、阿部倉で古民家を所有するオーナーの協力を得て、阿部倉の地域住民を対象としてモニタリングやチームミーティングを実施。毎日使いたくなる地域に愛されるロボットとして求められる機能や使用感などのアイデアのヒアリングや事業としてマネタイズに必要なことを議論した。

イ 産業経済に関する研修会、講習会の開催（研修事業）

（予算額 16,098,000 円）

支出額 11,787,630 円

（前年度支出額 10,078,473 円）

（ア）産学交流セミナー・フォーラムの開催

横須賀市に立地している企業や大学の知的資産を活用し、産学連携を促進するため、産学交流セミナーの開催とともに、環境・新エネルギー、ICT 分野に関するフォーラム等を開催して産学官連携の意義を広く周知した。

a 産学交流セミナーの開催

防衛大学の協力を得て市内中小企業の経営の参考となるセミナーを開催し、延べ 43 名が参加した。

- ・期 日 7/3・8/27・10/9(全 3 回)
- ・場 所 オンライン (Zoom ウェビナー)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・後 援 横須賀市 (全 3 回)
- ・対象者 企業経営者、技術者及び市民
- ・内 容

第 1 回 「日本語から英語を見てみよう

ー 日英語の発想の違い 言いたいことを伝えるコツー」

防衛大学校 総合教育学群 外国語教育室 講師 今村 怜

(参加者 16 名)

第 2 回 「機械の身体化とサイボグの未来」

防衛大学校 システム工学群 機械工学科 講師 植山 祐樹

(参加者 15 名)

第 3 回 「古くて新しい材料【シルク】ー再生医療材料としての可能性ー」

防衛大学校 応用科学群 応用化学科 講師 中澤 千香子

(参加者 12 名)

b 産学連携フォーラムの開催

市内中小企業が持つ MDF (多軸鍛造) 技術によって、純チタンの硬度と粘度を向上させ、歯科学分野における活用・実用を図る研究会を非公開での開催を企画した。市内企業主催でオンライン開催実施したため、産業振興財団は支出を見送った。

（イ）新春経済講演会の開催

新聞やテレビで活躍する講師により、激動する日本経済が直面している諸問題を豊富な経済知識で分析し、これからの日本経済の展望について新しい年の経営指針となる講演会を企画したが、感染症拡大防止の観点から慎重を期し開催を見送った。

(ウ) プログラミング研修の開催

将来の ICT 人材を育成するため、横須賀市内在住・在学の小学生を対象にプログラミング全国大会出場を目指し、横須賀地方大会を開催した。プログラミングスキルのレベルアップを目的としたワークショップの開催と優秀作品の表彰式を実施。令和 2 年度までは市内から全国大会の応募件数が無かったものの、令和 3 年度は 19 名の全国大会応募実績に繋げることができた。

プログラミングチャレンジ～よこすカップ 2021～の開催

【レベルアップワークショップ】

- ・期 日 9/4・9/11 計 2 回
- ・場 所 横須賀市産業振興財団会議室 (9/4)、オンライン (Zoom 9/11)
- ・主 催 (公財) 横須賀市産業振興財団
- ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会
- ・協 賛 (株) 建新
- ・内 容 事前に作成したプログラミング作品をレベルアップした作品にするためのアドバイスを含めた伴走型ワークショップ
- ・参加者 4 名 (9/4 : 1 名、9/11 : 3 名)

【プログラミングチャレンジ～よこすカップ 2021～表彰式】

- ・期 日 令和 3 年 10 月 16 日 (土) (作品募集期間 : 7/1～9/24)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・主 催 (公財) 横須賀市産業振興財団
- ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会
- ・協 賛 (株) 建新
- ・運営協力 (株) CA Tech Kids、(株) JTB 横須賀支店
- ・内 容 プログラミングチャレンジ～よこすカップ 2021～に応募された 19 作品を審査し、上位 10 作品を制作した小学生を招き、作品の紹介と表彰を実施
- ・参加者 10 名

(エ) 創業セミナーの開催

a 創業セミナー<特定創業支援等事業>

創業の意欲を持つ人に対して、創業の心構えや創業に必要なノウハウを系統的に学び、創業支援機関からの創業支援メニュー紹介、移動販売で創業することに関する講演や効果的なネットプロモーション方法を学ぶワークショップ等を含む研修を特定創業支援等事業として年 2 回実施した。

【前期創業セミナー】

- ・期 日 7/24・7/31・8/7・8/14・8/21 午前・8/21 午後<全 6 回>
- ・開 催 オンライン (Zoom)
- ・主 催 (公財) 横須賀市産業振興財団
- ・共 催 (株) 日本政策金融公庫、横須賀市、(公財) 神奈川産業振興センター
- ・後 援 横須賀商工会議所、神奈川県信用保証協会、(株) 横浜銀行
かながわ信用金庫、湘南信用金庫
- ・協 力 (一社) 日本移動販売協会、(株) ラーナ・ラーナ、岩堀行政書士事務所
Honey create、神奈川県よろず支援拠点
- ・テーマ ①「金融機関職員が教える創業のポイント」 (7/24)
②「事例から学ぶ創業成功のポイント」 (7/31)
③「人を雇うときのルール (労働保険・社会保険等)」 (8/7)

- ④「売れる仕組み・仕掛けの作り方」 (8/14)
- ⑤「創業の一形態としての移動販売(キッチンカー)の紹介・創業体験者の事例紹介・創業を応援する支援制度の紹介など」 (8/21 午前)
- ⑥「創業計画書作成セミナー・神奈川県よろず支援拠点コーディネーターへの質問タイムなど」 (8/21 午後)
- ・講師 (株)日本政策金融公庫 国民生活事業 横浜支店 融資第4課
上席課長代理 徳山真樹 (①)
中小企業診断士 IJMコンサルティング(同) CEO 飯島伸博 (②)
社会保険労務士 すずき社会保険労務士事務所 代表 鈴木江美 (③)
中小企業診断士 (株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司 (④)
(一社)日本移動販売協会 代表理事 太田明男 (⑤)
神奈川県よろず支援拠点 横須賀サテライト コーディネーター 大野順弘 (⑥)
- ・紹介者 (株)ラーナ・ラーナ 代表取締役 柳瀬美咲 (⑤)
岩堀行政書士事務所 特定行政書士 岩堀達也 (⑤)
横須賀商工会議所 産業・地域活性課 主任 藤原信介 (⑤)
Honey create 代表 倉田ともか (⑤)
湘南信用金庫 営業統括本部 地域活性課 チーム湘南
課長補佐 藤本直人 (⑤)
(公財)神奈川産業振興センター 事業部 経営支援課 玉野久美 (⑥)
- ・参加者 29名(特定創業支援等事業による確認書発行要件充足者27名)

【後期創業セミナー】

- ・期 日 10/28・11/4・11/11・11/18・11/25・12/2<全6回>
- ・開 催 オンライン (Zoom)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共 催 (株)日本政策金融公庫、横須賀市、(公財)神奈川産業振興センター
横須賀商工会議所
- ・後 援 神奈川県信用保証協会、(株)横浜銀行
かながわ信用金庫、湘南信用金庫
- ・協 力 イクスブレイン(同)、岩堀行政書士事務所
- ・テーマ ①「事例から学ぶ創業成功のポイント」(10/28)
②「金融機関職員が教える創業のポイント」(11/4)
③「人を雇うときのルール(労働保険・社会保険等)」(11/11)
④「売れる仕組み・仕掛けの作り方」(11/18)
⑤「ネットプロモーションセミナー・創業を応援する支援制度の紹介など」
⑥「創業計画書作成セミナー・神奈川県よろず支援拠点コーディネーターへの質問タイム・開業届ほか創業時に必要となる手続きについてなど」
- ・講師 中小企業診断士 IJMコンサルティング(同) CEO 飯島伸博 (①)
(株)日本政策金融公庫 国民生活事業 横浜支店 融資第4課
上席課長代理 徳山真樹 (②)
社会保険労務士 すずき社会保険労務士事務所 代表 鈴木江美 (③)
中小企業診断士 (株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司 (④)
イクスブレイン(同) 代表 大澤貴行 (⑤)
神奈川県よろず支援拠点 横須賀サテライトコーディネーター 大野順弘 (⑥)
- ・紹介者 横須賀商工会議所 産業・地域活性課 主任 藤原信介 (⑤)
(株)横浜銀行 営業戦略部 ビジネスプラザ 創業支援デスク 渡辺吉都 (⑤)
岩堀行政書士事務所 特定行政書士 岩堀達也 (⑥)
- ・参加者 24名(特定創業支援等事業による確認書発行要件充足者21名)

b 女性のための開業スクール

女性が初期投資を抑えたリスクの少ない起業ができるよう創業ノウハウのポイントや経験者の事例を学ぶイベントを開催した。なお、感染症拡大防止の観点からオンライン開催。

- ・期 日 令和3年9月25日(土)
- ・開 催 Zoom(オンライン)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共 催 横須賀市
- ・内 容
 - (a)第1部 私の開業体験談「こんな仕事で開業しました！」
コーディネーター：中小企業診断士(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司
開業体験談発表者：(株)シンクロ・フード モビマル事業部
地域創生アドバイザー 井島渚
専門家が明かす「開業成功のツボ」
コーディネーター：中小企業診断士(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司
 - (b)第2部 公開コンサルティング「私はこんな仕事を始めたい！」
コーディネーター：中小企業診断士(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司
開業希望者：サステイナブルな無人ブックカフェを始めたい開業希望者
 - (c)第3部 開業支援ツールのご紹介
紹介者①：(株)クレディゼン 東日本営業部 横浜エリア 営業一課 漆原彩日
紹介者②：(株)IBJ 営業推進部 部長 杉山達哉
紹介者③：京浜急行電鉄(株) 生活事業創造本部
レジャー・オフィス事業部 課長 須藤一樹
紹介者④：アイロワークス(有) 代表取締役 千葉理恵子
紹介者⑤：女性起業家応援 WITH((有)ティアラ代表取締役) 関珠美
紹介者⑥：横須賀法人会 女性部会((有)ティアラ代表取締役) 関珠美
紹介者⑦：(株)マチノベ CEO/代表取締役 相澤謙一郎
- ・司 会 FMブルー湘南 パーソナリティ 灯織
- ・参加者 24名

c こども起業体験

「アントレチャレンジ2021 in よこすか(よこすか起業部)」と銘打って、中高生がビジネスアイデアを作ってプレゼンテーションをするまでのプログラムをオンラインで実施した。事業計画を作成するまでのプロセス、事業計画の作り込み、多くの人に対して自身が考えたアイデアを発表することで得るプレゼンテーションスキルの向上などを体験することで、中高生の時期から創業意識を醸成する機会をオンラインで提供した。なお、ビジネスアイデアコンテストに先立ち、若手起業家3名より講演をしてもらい、コンテスト参加者の募集と起業が身近な選択肢であることを示した。

【仮入部イベント】

- ・期 日 9/23・10/15・10/29(計3回)
- ・開 催 オンライン(Zoom)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会、(株)日本政策金融公庫
- ・運 営 ミテモ(株)、(一社)ウィルドア
- ・協 力 MAKERS UNIVERSITY
(株)アソリア 代表取締役 櫻井竹琉
Planmeet 代表/早稲田大学政治経済学部4年 足立楓
- ・内 容 若手起業家によるプレゼンテーション、講演ゲストとの質疑応答など
- ・参加者 3名(9/23:2名、10/15:1名、10/29:0名(3名申込))

【横須賀ビジネスアイデアコンテスト】

- ・期 日 11/6・11/13・12/18（全3回）
- ・開 催 オンライン（Zoom）
- ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
- ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会、（株）日本政策金融公庫
- ・運 営 ミテモ（株）、（一社）ウィルドア
- ・協 力 **MAKERS UNIVERSITY**
（株）Kakedas 代表取締役 CEO 渋川駿伍
タイムカプセル（株） 代表取締役 相澤謙一郎（賞提供）
（株）京浜急行電鉄株式会社（参加賞提供）
横浜銀行横須賀支店（賞提供）
かながわ信用金庫（賞提供）
湘南信用金庫（賞提供）
- ・内 容 参加者自己紹介、ビジネスプラン作成の基礎知識、ビジネスアイデアを検討するワークショップなど（11/6）
若手起業家によるプレゼンテーション、講演ゲストとの質疑応答、ビジネスアイデアを検討するグループワークなど（11/13）
4チーム（5名）からのプレゼンテーション、全員参加型ブレインストーミング、表彰（12/18）
- ・参加者 5名（横須賀市在住の高校生）

（オ）スタートアップオーディション

新たな事業領域を自らの創意工夫で切り開くビジネスプランを募集し、審査・公表を行った。
なお、感染症拡大防止の観点からオンラインで開催した。

- ・募集期間 4/9～5/17（令和3年度中に市内で実施するビジネスプラン）
- ・1次審査 5/19～5/31（応募者12名の申請書を審査員が書類審査し、5名を選出）
- ・最終審査 6/26（審査結果発表と6/20に事前収録したプレゼンテーションと質疑応答の様子を動画編集して配信）
- ・開 催 オンライン（Zoom ウェビナー）
- ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
- ・共 催 横須賀市
- ・後 援 国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
- ・応募者 12組
- ・入 選 者 （株）プライスレスラボ 代表取締役 堀内満史
「ICT 漁業 海中モニタリング漁具『Sea Watcher』～漁業者が簡単に利用できるICT/IoTサービスの提供～」
（漁業従事者が養殖イカダの様子をスマートフォン等でリアルタイムにモニタリングできることサービスを提供する。生育状況を把握するために海に行く手間を削減することが可能になる他、食害被害をもたらす海洋生物を把握することで対策を講じやすくなり、漁獲量が増えるなどの効果を得ることのできるサービス提供事業）
（株）コトマノ 代表取締役 越中正人
「VR レンタル画廊サービス」
（横須賀市上町で営業しているスタジオをオンライン展示ルームとして貸し出す。利用者の美術品をスタジオに展示した後、空間ごと3D化させてオンライン上で360度見ることのできるVR空間にしてサービス提供する。展示品はオンライン上で購入もできるサービス提供事業）

小田恭央

「アニメ地域おこし学校」

(地域でアニメビジネスをしたい人を対象としたアニメビジネスノウハウを提供する学校をオンラインで開設する。講師陣にはアニメ制作の実務経験が豊富な方や有名作品の監督などを揃え、地域でどのようにアニメビジネスを成功させるのかを実際にビジネスを実行しながら実践で学ぶ体験をしてもらうサービス提供事業)

・審査員 5名(企業経営者、中小企業診断士、大学教授等)

ウ 産業経済情報の収集及び提供(情報提供事業)

(予算額 3,305,000 円)

支出額 3,067,084 円

(前年度支出額 1,650,801 円)

(ア) 情報の収集及び提供

産業交流プラザにおいて、来館者に経済情報等を提供した。

(イ) ホームページ・SNS(Facebook)による情報発信

セミナー・イベントの告知や相談窓口の紹介などの情報発信を行った。

エ 産業経済に関する調査研究(調査・相談事業)

(予算額 7,525,000 円)

支出額 4,833,050 円

(前年度支出額 8,310,681 円)

(ア) 産学官連携推進事業(再掲)

a 横須賀市研究機関研究者交流会

三浦半島地域に集積している研究機関・大学・行政のネットワークを強化するとともに、研究者間の課題を共有し連携することで、新技術の開発、新産業の創出及び産業集積の促進を目指す研究者同士が交流する場としてオンラインで開催した。

- ・期 日 令和4年3月30日(水)
- ・開 催 オンライン(oVice)
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団・横須賀市
- ・内 容 市内企業の企業案内、IoT検討サービス紹介等
- ・参加者 大学・研究機関研究者・企業エンジニア等27名

b 産学官交流相談

市内大学・研究機関で研究している様々な分野の研究成果を披露する機会を市内企業、研究者、勤労者に提供することを目的とした産学交流セミナー開催準備のため、大学関係者や研究者の元に赴き関心の高い研究テーマの選定、開催方法等について相談を実施。

- ・期 日 5/10・5/24・10/22
- ・場 所 防衛大学校
- ・参加者 延べ6名(大学関係者・講師)

(イ) 産業技術相談事業

a 産業技術相談

中小製造事業所の技術課題に対応するため、県機関と連携して個別訪問を実施した。技術的なアドバイスとともに表彰制度や補助金など公的支援策の紹介を行った。

- ・期 間 令和3年10月から令和4年1月
- ・企業数 9社

- ・実施者 (地独)神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC) 職員、
(公財)神奈川県産業振興センター (KIP) 職員、
当財団職員

b IoT 導入支援

工業、商業、農業、漁業、イベント・観光の5分野に対して、IoT 導入により生産性、利便性向上を図るため、ニーズのヒアリングなど IoT 導入支援に向けた活動に加え、生産性向上のため具体的な IoT 導入の助言・提案を行う IoT 診断を実施した。

- ・期 間 令和3年4月から令和4年3月
- ・内 容
工業分野 提案事項事前確認打合せ1回
IoT 診断1回

(ウ) メンタルヘルス相談事業

中小企業が独自に設置・実施することが困難な職場のメンタルヘルス対策を担うため、悩みやストレスを抱えて働いている人及びその管理者・経営者・家族を対象に「働く人の相談窓口」を開設した。

- ・期 間 令和3年4月から令和4年3月 (原則として毎週水曜日)
- ・相談者数 相談者30名 (男性10名、女性20名) 延べ125回 (平均4.2回/1名)
- ・相談員 (公財)横須賀市産業振興財団事業担当・産業カウンセラー 市川一郎
- ・内 容 ハラスメントを含む職場の人間関係 17名、就職・転職・復職・休職 8名、
家族問題 2名、その他 3名

(エ) 商工相談事業

市内中小企業の経営課題に対し、商工相談員が個別に課題解決に向けたアドバイスを行った。なお、感染症拡大防止の観点から一部オンライン併用実施。

- ・相談件数 48件 (別途、財団職員・知財総合相談窓口相談員による随時相談205回)
- ・相談員 中小企業診断士 (25件)、行政書士 (9件)、税理士 (7件)
社会保険労務士 (4件)、弁護士 (3件)

オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供 (福利厚生事業)

(予算額 23,090,000 円)
支出額 16,483,786 円
(前年度支出額 13,567,552 円)

(ア) 会員の概要

	市 町	年度当初	増	減	年度末
会員数	横須賀市	1,175	343	148	1,370
	逗子市	46	4	3	47
	三浦市	28	3	2	29
	葉山町	6	10	0	16
	計	1,255	360	153	1,462
事業所数	横須賀市	150	5	7	148
	逗子市	8	1	0	9
	三浦市	6	3	0	9
	葉山町	3	1	0	4
	計	167	10	7	170

(イ) 自己啓発・余暇活動事業

会員の自己啓発や余暇活動をサポートし、会員・家族の QOL 向上を目指す事業を、独自企画事業に加えて県内各サービスセンターや神奈川県労働者福祉協議会との共催で行った。また、福利厚生事業を全国展開している(株)ベネフィット・ワンと契約し、多様なサービスを提供した。

a 京急油壺マリンパーク貸し切りイベント

- ・期 日 令和3年6月19日(土)
- ・場 所 京急油壺マリンパーク
- ・共 催 三浦半島地域労働者福祉協議会
- ・参加者 50名

b さつまいも掘り・みかん狩り・いちご狩り

- ・期 間 令和3年9月11日～令和3年11月14日(さつまいも掘り)
令和3年10月20日～令和3年11月30日(みかん狩り)
令和4年1月8日～令和4年2月28日(いちご狩り)
- ・場 所 津久井浜観光農園
- ・参加者 112名

c 新江ノ島水族館貸し切りイベント

- ・期 間 令和4年2月19日
- ・場 所 新江ノ島水族館
- ・共 催 三浦半島地域労働者福祉協議会
- ・参加者 44名

d 各種利用券補助

- | | | | |
|--------------------|-------|---------------|-------|
| ・ジェフグルメカード | 1170枚 | ・ユネッサン入場券 | 6枚 |
| ・おんり～ゆ～他日帰り温泉チケット | 119枚 | ・温水プール回数券 | 91セット |
| ・TDRコーポレートプログラム利用券 | 57枚 | ・ホテルランチ、ディナー券 | 277枚 |
| ・ハーゲンダッツミニカップギフト券 | 102枚 | ・トイカードほか | 67枚 |
| ・サーティワンアイスクリームギフト券 | 190枚 | ・ペア食事券プレゼントほか | 44名 |

e 文化教養(演劇、歌謡などの鑑賞券補助)

- ・場 所 よこすか芸術劇場
- ・内 容 くるみ割り人形ほか
- ・利用枚数 19枚

f 委託事業(ベネフィット・ワン)

- | | | | |
|------------|--------|-----|--------|
| ・宿泊施設 | 118件 | | |
| ・スポーツ | 449件 | | |
| ・レジャー&エンタメ | 590件 | | |
| ・ショッピング | 254件ほか | 合 計 | 2,038件 |

(ウ) 健康の維持増進事業

会員が健康の維持増進のために行うスポーツの施設利用割引や、人間ドック・がん検診（PCR検査含む）、インフルエンザワクチン接種などに補助をした。

a スポーツ施設利用補助（再掲）

- ・横須賀市健康増進センター「すこやかん」 (大規模修繕に伴い休業)
- ・横須賀市サブアリーナほか3件「温水プール」 91セット (1セット11枚)
- ・横須賀市総合体育会館ほか3件「施設使用」 0セット (1セット11枚)

b インフルエンザワクチン接種補助

- ・補助対象 会員と登録している家族、計3名まで
- ・利用者 534名

c 人間ドック・健康診断オプション「がん検診」補助

- ・補助対象 会員本人
- ・利用者 101名

d 家庭用常備薬あっせん

- ・利用者 41名

(エ) 情報提供事業

会員に季刊誌等を通じて、サービス・イベント情報を発信するとともに、未加入事業所に「ひとびとみうら」の事業内容についてPRし、加入促進に努めた。

a 「ひとびとみうらセンターだより」の発行

- ・発行時期 4月・7月・11月・2月 (計4回)
- ・発行部数 7,500部
- ・内容 運営状況、イベント広報ほか

b 「ひとびとみうらイベントニュース」の発行

- ・発行時期 令和3年4月から令和4年3月 (計6回)
- ・発行部数 1,800部
- ・イベント広報ほか

(2) 収益事業等

ア 「ひとびとみうら」会員に対する祝い金や見舞金など慶弔金の給付（慶弔給付事業）

(予算額 6,826,000 円)

支出額 6,497,917 円

(前年度支出額 6,185,440 円)

(ア) 会員の概要

P9「オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供(福利厚生事業)(ア) 会員の概要」のとおり

(イ) 在職中の生活安定事業

会員とその家族に祝い金や見舞金など広範な慶弔給付事業を実施した。

- ・結婚、出産、子の小学校・中学校入学、永年勤続の祝金
給付額(結婚 10,000 円、他 5,000 円) 213 件
- ・休業、住宅災害、後遺障害の見舞金
給付額(5,000 円～25,000 円) 27 件
- ・会員、配偶者、子、親死亡による弔慰金
給付額(5,000 円～200,000 円) 54 件

イ 横須賀市内の特定中小企業者に対する経営改善支援（経営改善支援事業）

(予算額 2,125,000 円)

支出額 722,769 円

(前年度支出額 2,171,176 円)

(ア) オーダーメイド企業研修の受託

中小企業の要望に応じて、委託企業の経営課題に対応したテーマを設定し、経営コンサルタントを派遣。

- ・受託件数 2 団体より 3 度受託 (延べ 5 回派遣)
- ・内 容 「クリニックの人材育成計画立案支援」 (1 回)
「医療機関の社内ネットワーク構築・IT 活用支援」 (3 回)
「医療機関の経営するグループホーム業績改善支援」 (1 回)

(イ) 企業訪問調査・相談事業

市内中小企業の経営革新や創業者の経営拡大を支援するため、当該課題に適した専門家を派遣した。なお、感染症拡大防止の観点から一部オンライン併用実施。

- ・期 間 令和 3 年 4 月から令和 4 年 3 月まで年間を通じて実施
- ・企業数 11 事業者 (11 回)
- ・訪問者 中小企業診断士

2 役員会等の概要

(1) 役員に関する事項

ア 評議員の就任

- ・令和 3 年 5 月 21 日付 山 口 博 之 氏 (就 任)
- ・令和 3 年 5 月 21 日付 柏 原 恭 子 氏 (就 任)

イ 評議員の辞任

- ・令和 3 年 5 月 20 日付 上之段 功 氏 (一身上の都合による)
- ・令和 3 年 5 月 20 日付 市 川 卓 真 氏 (一身上の都合による)

ウ 監事の就任

- ・令和 3 年 5 月 21 日付 須 藤 龍 一 氏 (就 任)

エ 監事の辞任

- ・令和 3 年 5 月 20 日付 若 松 滋 俊 氏 (一身上の都合による)

(2) 役員会等に関する事項

ア 令和2年度事業及び決算等の監査 令和3年5月25日

イ 理事会

- ・ 令和3年度第1回理事会 令和3年5月12日
第1号議案 「評議員会の招集について(決議の省略による)」
- ・ 令和3年度第2回理事会 令和3年6月7日
第1号議案 「令和2年度(2020年度)事業報告及び決算について」
第2号議案 「定時評議員会の招集について」
- ・ 令和3年度第3回理事会 令和4年3月8日
第1号議案 「令和4年度(2022年度)事業計画について」
第2号議案 「令和4年度(2022年度)収支予算について」
第3号議案 「評議員会の招集について」

ウ 評議員会

- ・ 令和3年度第1回評議員会 令和3年5月21日
第1号議案 「評議員の辞任及び選任について(決議の省略による)」
第2号議案 「監事の辞任及び選任について(決議の省略による)」
- ・ 令和3年度第2回評議員会 令和3年6月22日(オンライン併用)
第1号議案 「令和2年度(2020年度)決算について(決議の省略による)」
- ・ 令和3年度第3回評議員会 令和4年3月22日(オンライン併用)
第1号議案 「令和4年度(2022年度)事業計画について」
第2号議案 「令和4年度(2022年度)収支予算について」